

C D - I 型消防ポンプ自動車（ 1 台）仕様書

前橋市消防団

（消防団第 6 分団 2 部）

令和 7 年度消防団車両整備管理事業

前 橋 市

前 橋 市 消 防 局

第1 総則

- 1 この仕様書は、前橋市（以下「当市」という。）が行う消防団車両整備管理事業のうち、令和7年度に整備するため発注する車両総重量3.5t未満のCD-I型消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）について、必要な事項を定めるものとする。
- 2 受注者は、受注後直ちに、納入しようとする車両の詳細な規格を記入した書類並びに図面を提出し、当市の承認を受けること。
 - （1）製作承認図（4面図）
 - （2）ぎ装配置図
 - （3）ポンプ動力伝達機構図
 - （4）ポンプ配管図
 - （5）電気配線図
 - （6）自動車改造計画書
 - （7）製作工程表
 - （8）契約金額内訳明細書、及びその他当市が必要と認めるもの
- 3 車両は、株式会社モリタのミラクルライトとする。
- 4 車両は、この仕様書に定めるほか、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合するほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られること。
- 5 車両ぎ装は、耐久性及び強度を損なわない範囲で、極力軽量化を図るものとする。
- 6 受注者は、車両の納入予定日の20日前までに検査実施依頼書を当市に提出し、承認を受けた後、当市の中間検査を受けること。
- 7 受注者は、この仕様書に疑義が生じた場合又は変更を必要とする場合は、事前に当局の承認を受けること。
- 8 ギ装の全てについては、消防用車両の安全基準検討会が示した「消防用車両の安全基準について」に適合したものであること。
- 9 受注者は車両を納入後、正常な操作及び取扱により生じた故障（破損）や欠陥（リコール等）による不具合及び消防用車両の安全基準不適合と判断された場合には、速やかに当局に連絡の上、無償修理等に関する承認を受け、当局が指定または承認した整備工場等で実施すること。
- 10 受注者は、車両納入後、当局の指示する期日に車両の取扱説明会を行うこと。
- 11 契約については、本仕様書を十分検討し当市と協議すること。
また、契約後におけるすべての疑義については、当局の指示に従うこと。

第2 シャーシぎ装

1 シャーシ

- (1) シャーシは、株式会社モリタのミラクルライト指定のシャーシとする。
- (2) タイヤは、令和7年以降製造のブリヂストン製スタッドレスタイヤとし、銀色スチールホイールに組み込むこと。
- (3) エンジン冷却水クーラー、エンジンオイルクーラー及びポンプミッションオイルクーラーを間接冷却方式で設けること。
- (4) A B S、車両安定（姿勢）制御システム、ミリ波レーダー、自動ブレーキシステム、車線逸脱警告、その他安全装置のうち装備できるものは全て装備すること。
- (5) 運転席及び助手席にS R Sエアバッグを装備すること。
- (6) P T Oの切替操作は、電気式スイッチ及びシフト操作により行える構造とすること。

2 キャビン

- (1) フロントパネル中央に前橋市紋章を設けること。
- (2) 左サイドミラーステーに、助手席用ミラーを取り付けること。
- (3) 各ドアのピラー外側に乗降用手すりを設けること。
- (4) 各ドアにサイドバイザー（ドアバイザー）を設けること。
- (5) 運転席及び助手席に防汚性シートカバーを取り付けること。
- (6) 後席の前方に中間パイプを設け、乗降の妨げにならない位置にA3版地図入れを設けること。
- (7) 後席は3名掛けベンチシートとし、座面を取外し又は開閉できる構造により座面下を収納として使用できるよう鋼板で囲いを設けること。
- (8) キャビン内の配線及び配管部は乗降時又は乗車時における損傷防止の有効な措置を講じることとし、乗降の妨げとならないこと。

3 電装品

- (1) L E Dヘッドライト及びフォグランプを設けること。
- (2) エアークンディショナーを設けること。
- (3) ドライブレコーダーを運転に支障のない位置に設けること。
- (4) ルームミラーは電子式とし、後退時はバックモニターとして機能させること。バックカメラは金属製ガードで強固に保護すること。
- (5) 左サイドミラーを電動格納式とすること。
- (6) ドアロックはリモコン式電動集中ロックとすること。

第2 車体ぎ装

1 キャビンぎ装

- (1) サイレンアンプ及びハンドマイクをインパネ中央付近に設けること。
- (2) サイレンアンプと連動する集中操作スイッチを設け、サイレンアンプの

合成音声等の鳴動操作ができるよう配線をすること。スイッチ割り当て及び組込音声は、別途指示する。

- (3) 助手席及び後席左右にマップランプを設けること。
- (4) キャビン内の天井部をできる限り断熱効果の高い製品で内装し、内張の要所ごとに、電装品及び各配線の取付箇所が容易に点検、修理できる構造とすること。
- (5) インパネ中央付近のスイッチホールに電装関係に必要なスイッチ類を整然と並べ、銘板を設けること。
- (6) 中間パイプの地図入れ付近にDC-ACインバーターを設置し、別途作動スイッチをガード付きで設けること。
- (7) バッテリー管理器を後席座席下に設け、入力大型マグネット式コンセントは、車外右側に設置すること。

なお、バッテリー管理器本体には、金属製のガードを設けること。

- (8) 後面窓ガラスの内側に、保護縦格子を設けること。材料は外径10mm程度のステンレス丸棒、各100mm程度の間隔で設けること。
- (9) 防火服掛けフックを、後面窓ガラスの保護枠上部に5個設けること。
- (10) 各取付箇所は、それぞれに応じた補強を施すこと。

2 ポンプぎ装

- (1) ぎ装に用いる構造材は、すべて日本産業規格に基づいて精選された耐久性に富むもので、別表1に示す強度以上のものを使用すること。
- (2) 消防ポンプ性能は、A-2級とし最高圧力は1.4MPa以上とする。
- (3) 真空ポンプを定格回転で作動させ、75mm×10m吸管1本をポンプ吸水口に結合した先端で、真空度を零から試験時の大気圧85%に達するまでに要する時間は30秒以内とし、漏気は30秒間で13KPa以内とする。
- (4) 水ポンプは、1段ボリュートポンプ、メカニカルシール式とする
- (5) 真空ポンプは、ピストン式完全オイルレスとし、排気量は973cc以上とすること。
- (6) 吸水口は、口径75mm、配管75mmのボールコック付きとし、車体左右操作盤後部に各1口設け、吸水口エルボ（75φ×45°×45°スイベル型）を介して吸管を接続すること。

さらに、同エルボ下部の左右車体フェンダーは、材質をFRP製とし、全面を強度のあるアルミ板またはステンレス板にて保護すること。

- (7) 吐水口は、配管65mmボールコック付き、口径は前側が65mm、後ろ側が65mm/50mmのマルチ式とし、車体左右操作盤に各2口設けること。
- (8) 中継吸口は、口径65mmボールコック付きとし左右に設けること。
- (9) バイパスバルブ（エゼクターバルブ）を左右の吸水口にガラスボール付

きで設けること。

(10) ポンプ操作盤は、e-モニターとする。

(11) ラジエター補助クーラー及びミッションオイルクーラーへの配管は、冷却水量を調整でき、2系統ろ過装置が設けられた間接冷却型とする。

また、冷却水の取出口は、逆流防止弁と吐水口の間に設け、使用後の残水を完全に排出できること。

(12) ドレンについては、ポンプドレンはP T O連動とし、吸水口、吐水口及び中継口は手動式とする。

3 車体ぎ装

(1) 車両側板は、端部周辺を折り曲げ、ステップはアルミ縞板とする。

(2) 車体上部は、全面にアルミ縞鋼板を張り、ポンプ点検口を設けること。

(3) 車体上部全周に高さ150mmのステンレスパイプ製の手摺りを設け、積載した機器具が落下しない構造とすること。

なお、左右側板側は、同側板を手摺り高まで延長することでこれに代えることができる。

(4) ポンプ室側板は半密閉型とし、コック等の修理に必要な箇所は、取り外しができる構造とすること。

(5) ホース収納庫をポンプ室上部に設けること。扉は上開き跳ね上げ式でガスダンパー付きとすること。

(6) 車体のポンプ室から後ろを器具ボックスとすること。高さは、ポンプ室上部ホース収納庫と同一とし、車体後方にシャッター扉を設けること。

また、上部巻取り式シャッター扉はアルミ製とし、最大幅、最大高さで設けること。

(7) 鋼管製二つ折り梯子固定装置を車体上部右半分に設けること。二つ折り梯子の取出方向は後方とし、後端にローラーを設け、ロック解除等を含め車体上に上って作業をする必要がない構造とすること。

(8) 車体上部左半分にアルミ縞鋼板製のボックスを設け、器具積載場所とし、折り畳み式リヤカー一式を積載できる大きさとする。

(9) 側板両後端にステップ乗降用の手摺りを取り付けること。

(10) 後部ステップの奥行きは、65mm×20mの消防用ホースを二重巻きにした状態で長手を前後方向に積載した時にホースが積載できる程度の奥行きとすること。

(11) 取付品等については、次のとおりとする。

ア 吸管は、両側板後部に3点固定金具を設けて取り付けること。

イ トビロ積載装置は、左側板上部のできる限り低い位置に設け、先端

部を車両後部側とすること。

ウ 消火栓開閉バーは、専用金具により積載すること。

エ 後部左側板内側に、ノンスリップ管槍を専用金具により取り付け、空きスペースに消火栓手鉤 2 個を重ねて取り付け、折り畳み昇降用足掛け梯子を設置すること。

なお、取付スペースに支障がある場合には当局と協議のこと。

オ 後部右側板内側に、ノンスリップ管槍を専用金具により取り付けること。

カ 車輪止め積載金具 2 個を車体右側に取り付け、飛出防止措置を講じること。取付位置は協議とする。

キ 吸管スパナ 2 本を右吸管巻き取り内側に取り付けること。

ク 左右吸管巻き取り内側に、アルミ製キャスター付き背負い式ホース延長器（65mmホース 3 本詰め又は 50mmホース 4 本詰め）を各 1 器、専用取付装置にて取り付け、ワンタッチバックル式の固定ベルト及び防水カバー付きで設けること。

なお、車載状態でバックルを外し、そのままの状態に容易に背負える向き及び構造で取り付けること。

ケ 後部器具ボックスの内部は、アルミ製キャスター付き背負い式ホース延長器（65mmホース 3 本詰め）をできる限り多く収納できる構造とし、LED照明 2 基、コードリール 2 器及び発動発電機 1 台を各専用固定具により積載すること。

コ 自動車用消火器をポンプ室上部に、専用取付装置及び防水カバー付きで取り付けること。

サ 分岐金具を車体左ステップ上、中継口の下部付近に専用金具を用い取り付けすること。

シ ポンプ室上部及び器具ボックス上部にロープフックを等間隔で片側 5 か所以上、必要数設けること。

ス ホースブリッジ収納を設け、飛び出し防止金具付きとすること。

セ 65mm無反動管槍を右側板の吸管上部に取り付けること。

ソ 車両左側面後部に旗立てを取り付けること。

タ 左右側板内側に、ネット取付用ステンレス製パッドアイを各 2 個ずつ及び、後部ステップ下面に同サイズのパッドアイを 4 個設け、ホース積載ネットにステンレス製スプリングフックを取り付け、パッドアイに引っかける構造とすること。

ツ 上記、各取付品及び積載品の位置等について、不都合が生じた場合は当局と協議、検討すること。

(12) 照明・灯火類については、次のとおりとする。

なお、特別の場合を除いて灯火類はすべてＬＥＤ式とする。

ア 作業灯は、小糸製作所製「ＭＹＳ－７５ＬＰ」のアルミ伸縮ポール付きとし、車体右前部に１灯、車体左後部に１灯、計２灯設け、スイッチを各灯付近にガード付きで設けること。

イ 左右ポンプ操作盤等及び器具ボックス内に夜間の視認に十分な照度の照明灯を設け、スイッチをキャビン内に設けること。

ウ ポンプ室内に点検用照明灯を設け、盤面照明と連動とすること。

エ 車両後退灯は、車両後部の両側に設けること。

オ 路肩灯は左右後輪前部のステップ下部に設け、スモールライト連動とすること。

カ 各灯火類のスイッチには、それぞれ銘板を取り付けること。

４ 赤色警光灯・赤色点滅灯

赤色警光灯及び赤色点滅灯については、別表２に記載の型式等とし、次のとおり取り付けること。

- (１) ルーフ上に標識灯・モーターサイレン内蔵型赤色警光灯を設け、サイレンアンプと接続すること。標識灯は、オーバーヘッドライト連動とすること。
- (２) フロントパネルに赤色点滅灯２灯を左右に振り分けて設け、赤色警光灯に連動させること。点滅は左右交互とすること。
- (３) 左右側板後端に赤色点滅灯を後ろ向きに設け、赤色警光灯と連動させること。点滅は左右交互とすること。

５ 無線機及び受令機（以下「無線機等」という。）

無線機等の移設については、次のとおりとする。

- (１) 無線機本体及び受令機本体を移設し、配線、空中線、スピーカー及びハンドセットは新品を使用することとし、ハンドセットの形状は当市と協議すること。

なお、無線機等の移設位置については、当市と協議すること。

- (２) キャビン上部やや後方左右に無線機等の空中線を各必要数設け、キャビン内の無線機等の設置箇所まで配線すること。配線は、保護管を用いてキャビン内張内を通し配管（配線）し、別に無線機等のスピーカーを設けること。

なお、空中線及び無線機等のスピーカー取付位置については、当市と協議すること。

- (３) キャビン貫通部は雨水等の浸入を防止する構造とすること。
- (４) 車外無線機の車外スピーカーを付属して取り付け、車外スピーカー音声出力オンオフスイッチを設けること。

また、車外スピーカーがオンの状態が容易に判別できるインジケータ

ランプをスイッチ付近に設けること。

- (5) 無線機等の本体から車外スピーカーまで出力する間に必要な機器等がある場合は、取り付けること。
- (6) 無線機用電源はA C C連動とすること。
- (7) 無線機等の移設は、当市が指定する業者に実施させること。
- (8) 無線機等の工事経費は、受注者が負担すること。

6 塗装

- (1) 車体は防錆塗装下塗りを行い、十分乾燥させること。
- (2) 外装色は朱色とし、3回以上の吹き付け塗装を行い塗斑のないこと。
- (3) 車体下回りは黒色の防錆塗装、ポンプ室内は赤色塗装とすること。
- (4) 外部に露出しているステンレス、アルミ及び黄銅製以外の金属部分は、すべてニッケル又はニッケルクロムメッキを施すこと。

7 記入文字等

(1) 共通事項

特記のない限り、文字はすべて反射素材の白色カッティングシートを使用し、書体は丸ゴシック、左書きとすること。

- (2) キャビン両側に「前橋市消防団」と記入すること。

文字の大きさは、1文字200mm×110mm程度の縦長とする。

- (3) キャビン両側に分団名「6-2」と記入すること。

文字の大きさは、「6」を1文字200mm×150mm、「2」を150mm×100mmの縦長とする。

- (4) 標識灯に「6-2」と黒文字にて記入すること。

- (5) ルーフ上に「6-2」と記入すること。

文字の大きさは、1文字700mm×450mm程度の縦長とする。

- (6) フロントパネル左側及び車体後部「6-2」として記入すること。

文字の大きさは1文字70mm×70mm程度とする。

- (7) 運転席及び助手席ドアに当市で指定する消防団のエンブレム（反射素材）を貼付すること。

- (8) キャビン両側面に赤色の高輝度反射素材のテープの帯を貼付すること。

- (9) 記入文字等については、当局と協議し実施すること。

- (10) 使用する反射材は、道路交通法に適合すること。

8 その他

- (1) 完成車の最大車高を2,400mm以下とする。

- (2) ポンプ関係の電装は、車両電装とは別系統のヒューズボックスを設けること。

- (3) ホース延長器の材質は、強度に十分に配慮してアルミ鋼管とするこ

と。

(4) ブラックボックスは整備性の良い位置に設置すること。

第3 取付品、付属品

取付品及び付属品の詳細については、別表2、3のとおり

第4 納期

令和9年3月31日までに、当市に本仕様書のすべてを納入すること。

第5 検査

次の検査は、実施できる状態で日程を組み、検査実施依頼書は検査予定日の20日前までに当局へ提出すること。

1 中間検査

ぎ装、各取付品部、作動、寸法及び構造等を検査する。

2 完成検査

完成検査は、ぎ装及び塗装等が全て完成した時点で、本仕様書の全般及び次の事項について実施する。

(1) 車両の外部外観寸法

(2) 各種装置、機材の機能検査

(3) 取付品及び付属品の形状、取付積載状況並びに数量検査

(4) ポンプ機構の性能検査

(5) 車両走行運転試験

第6 納入

1 完成車は、関東陸運局群馬陸運支局の行う新規登録検査に合格後、緊急自動車として運行ができる状態で納入するものとする。

また、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税及び自動車リサイクル料金については、当市が支払うこととし、当市の発する委任状によりシャーシ受注者が新規登録検査及び緊急自動車届出等の諸手続きを実施すること。

なお、自動車登録番号は、カラー版前橋図柄入りナンバー「602」とし、発行等に係る費用は、受注者の負担とする。

2 完成車の納入は、シャーシ受注者がぎ装受注者と協力して各部の清掃、注油、点検等の手入れを実施し、燃料満了にして納入することとし、これに係る費用はシャーシ受注者が負担するものとする。

3 納入時には、次の関係図書を当局に提出すること。

(1) 車両構造図

(2) 納品書

- (3) 自動車検査証
- (4) 自動車損害賠償責任保険証
- (5) 自動車リサイクル券
- (6) 電気配線図
- (7) 取付品、付属品明細書
- (8) 車両取扱説明書
- (9) 保証書

4 納入後、当市の指定する日時に、車両及びぎ装の取扱説明会を実施すること。

第7 保守

完成車納車後の新車点検（1ヶ月または1,000キロ走行時）については、当局が指定する日時において、エンジンオイル及びエンジンオイルフィルターの交換を含め実施することとし、費用は受注者の負担とする。

第8 補則

- 1 受注者は、納入検査において不適と認めた箇所及び部品については、無償で交換または修理を行うものとする。
また、保証期間後といえども設計不良、工作不良、あるいは材質不良に起因する不都合箇所が生じた場合は、無償にて交換または修理を行うものとする。
- 2 本車両の保証期間は納入後1年とし、その他の積載品材料等については各メーカー保証期間とする。
- 3 受注者は、本仕様書に記載のないものであっても当然に必要なと考えられるものは、良心的に製作すること。
- 4 立会検査時の各種試験材料等の経費は、受注者の負担とする。
- 5 仕様説明における当局係員の補足等は、本仕様の追補とする。

別表 1

ぎ装構造材一覧表

部 品 名		材 料
ポン	羽 根 車 及 び	J I S H5120 (銅及び銅合金鋳物)
	案 内 羽 根	J I S H5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
		J I S H5202 (アルミニウム合金鋳物)
	ケ ー シ ン グ	J I S G5501 (ネズミ鋳鉄品)
		J I S G5502 (球状黒鉛鋳鉄品)
		J I S H5120 (銅及び銅合金鋳物)
		J I S H5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
		J I S H5202 (アルミニウム合金鋳物)
	ポ ン プ 軸	J I S G4051 (機械構造用炭素鋼鋼材)
		J I S G4052 (焼入製を保証した構造用鋼鋼材H鋼)
		J I S G4053 (ニッケルクロム鋼鋼材及びクロムモリブデン鋼鋼材)
	インデューサー	J I S G5121 (ステンレス鋼鋳鋼品)
		J I S H5120 (銅及び銅合金鋳物)
		J I S H5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
		J I S H5202 (アルミニウム合金鋳物)
給水配管及び放水配管		J I S G3452 (配管用炭素鋼管)
		J I S G3454 (圧力配管用炭素鋼管)
		J I S G3459 (配管用ステンレス鋼管)
		J I S G5501 (ねずみ鋳鉄品)
		J I S H4080 (アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管)
車 体 の 艀 装 材 料		J I S H5202 (アルミニウム合金鋳物)
		J I S G3101 (一般構造用圧延鋼材) 又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するもの)
(注) 通水内面には防食処置を施すこと。(ただし、銅及び銅合金部分を除く。)		

別表 2 取付品

	品 名	数 量	仕様及び型式
1	前橋市紋章	1 個	別図のとおり
2	助手席用サイドミラー	1 個	保安基準適合品
3	ドアバイザー	1 式	
4	防汚性シートカバー	1 式	運転席・助手席
5	ドライブレコーダー	1 式	フロントのみ
6	電子サイレンアンプ	1 式	大阪サイレンMark-D1 (TSK-D152スイッチロール付/ウーウ音・組込み合成音声別途指示
7	集中操作スイッチ	1 式	大阪サイレン製SBW-100 (リレー付)
8	赤色警光灯	1 式	大阪サイレンNF-ML-VK2M-LA1
9	前部赤色点滅灯	2 個	フロントパネル・大阪サイレン LFA-50
10	後部赤色点滅灯	2 個	側板後端・大阪サイレン LFA-50
11	マップランプ	3 式	助手席・後席左右
12	無線機及び受令器	1 式	設置位置等については、別途協議
13	カーラジオ	1 基	F M ・ A M ラジオ
14	DC-AC インバーター	1 式	CSAS-A350R 別スイッチ付き
15	バッテリー管理器	1 式	過充電防止機能 大型マグネット式コンセント 1 0 0 V 外部入力 10m コード 1 本
16	後退警報ブザー	1 個	スモール連動オフ機能付き
17	書類入れ	1 個	A 3 判対応
18	防火衣掛けフック	5 個	ステンレス
19	吸管	2 本	3 点固定金具 75mm×10m 軽量型 (白色スコッチテープ) カラビナ取付環金具付き
20	吸口エルボ	2 個	75mm×45° ×45° スイベル型
21	吸口ストレーナー	4 個	吸水口、中継口 各 2 個
22	中継吸口用媒介金具	2 個	65mm メスネジ×65 mm メス町野式
23	ポンプ操作盤	2 式	左右各 1 e-モニター
24	梯子積載金具	1 式	車体上右側寄せ
25	車外無線スピーカー	1 式	右側
26	側板後端手摺り	2 本	左右
27	とび口積載金具	1 式	左側・とび口先端は後ろ向き
28	消火栓バール積載金具	1 式	F H バール用
29	管槍固定金具	3 式	ストレート 2 本・無反動 1 本
30	吸管スパナ	2 本	右側吸管内側・黄色塗装
31	ホース背負器積載金具	2 式	左右吸管内側・ワンタッチバックル

32	分岐管固定金具	1 式	左ステップ
33	輪留め積載金具	2 個分	右側板
34	作業灯	2 式	小糸製作所製「M Y S - 7 5 L P」 アルミ伸縮ポール付・右前 1 ・左後 1
35	濡れホース積載ネット金具	1 式	後部ステップ・側板にカラビナ掛け
36	不凍液注入装置	1 式	外部小型液層付き
37	ポンプ操作盤灯	2 式	L E D 式
38	ポンプ室等照明	必要数	ボックス内・ポンプ室・各ゲージ
39	路肩灯	2 式	左右
40	車両昇降用梯子	1 式	アルミ折畳・左後部側板内側
41	取っ手類	必要数	各部

別表 2 付属品

	品 名	数量	仕様及び型式
1	タイヤチェーン	各 1	シングルチェーン 1 式 S C C ケーブルチェーン 1 式
2	スペアタイヤ	1 本	装着品と同一
3	フロアマット	1 式	全席 黒色ゴム製
4	車載工具	1 式	標準品・ジャッキ含む
5	L E D 式非常信号灯	1 本	保安基準適合品
6	吸管ストレーナー	2 個	ネジ式
7	吸管ちりよけ籠	2 個	黄色プラスチック製
8	吸管まくら木	2 個	ゴム製
9	吸管ロープ	2 本	ナイロンロープ10mm×15m
10	吸管用消火栓金具	1 個	吸管引上金具付65mm差込メス ロープ引揚式
11	消火栓開閉金具	1 式	Y O N E F H バール 1 本
12	吸管スパナ	2 本	黄色塗装
13	管そう	3 本	65mm ノンスリップ（赤色）2本 65mm 無反動 1本
14	ノズル	5 個	23、26mm ストレート各 1 個、NM-Ⅱ×2個 パーフェクトノズル×1 個
15	放口媒介金具	4 個	65mm メスネジ×65mm 差込オス 2個 65mm メスネジ×65/50mm マルチスイベル 2個
16	分岐管	2 個	メス65mm×オス65mm
17	とび口	2 本	1800mm 樹脂製（黄色）
18	金てこ	1 本	900mm

19	剣先スコップ	1 丁	金属柄 穴あきタイプ
20	梯子	1 基	関東梯子製 K-1-36 3.6m 赤色 鋼管製二つ折り梯子
21	ホース延長器	10基	MAC-003 (ネーム入り)
22	車輪止	2 個	右側ポンプ下
23	消火器	1 本	自動車用20型 (防水カバー付)
24	ポンプ工具	1 式	ファンネル回し
25	ホースブリッジ	2 枚	ゴム製
26	予備ヒューズ	1 式	取付品の半数
27	カラビナ	2 個	O型安全環付き
28	大斧	1 本	CA60 (グラスファイバー)
29	ナイロンネット	1 枚	短辺600mm×長辺後部ステップ幅 ステンレススナップフック 8 個付き
30	旗立てポール	1 本	700mm程度
31	旗	2 枚	白地に黒色文字「訓練」
32	照明器具	2 式	三脚付き・収納袋付き
33	発動発電機	1 基	ホンダEU9i・オイル満了 団名表示
34	コードリール	2 器	ハタヤ屋外防雨型 30m プラグコンセントから 30cm 付近に 金属製ナス環付き 団名表示
35	折り畳み式リヤカー	1 台	ノーパンクタイヤ、ストレッチャー付 昭和ブリッジ販売 SMC-1BST 防水収納袋付き
36	吸水器具	1 個	クイックキャッチャー
37	消火栓手鉤	2 本	J フック型
38	消防用ホース	10本	65mm中間線入り白袴
39	操法用ステップ	1 式	

別図

前 橋 市 紋 章

規格

- 1 紋章の輪の大きさは、外円と内円の半径の比を $1 : 0.73$ とする。
- 2 材質は J I S H 5 1 2 0 砲金とする。
- 3 外周部の厚さは、9 mm、また内周円部の厚さは、6 mm とする。

